

みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

練馬区立南田中小学校
校長 原田 知樹

NO. 37

例年2月3日が節分ですが、今年は124年振りに、2月2日（火）が節分になりました。1日（月）の全校朝会では校長先生から、「自分の中にいる追い出したい鬼を考え、豆を蒔いて鬼を追い出しましょう。」というお話がありました。そこでみなみん学級でも、2日（火）の日に、「なりたい自分」を真剣に考え、「追い出したい鬼」を決めました。そして、3日（水）に豆まきをしました。「追い出したい鬼」は、持ち帰った短冊に書かれていますので、ご確認ください。

☆4～6年生で考えたお店屋さん、オープン☆

12月の「みなみ集会」では、6年生が作ったカルタを使用して、全校の皆を楽しませることができました。その経験を生かして、今度は、みなみん学級の子供たちを楽しませようと、6年生が中心となって遊びを計画しました。6年生の他に、高学年として、5年生や4年生も、計画するグループに入りました。遊びを考えるとところから始めて、「劇をして見せてあげよう。」「昔遊びが良いと思う。」「ゲーム大会。」等、活発に意見が出されました。その中で、話し合いをした結果、「お店屋さん・魚釣りゲーム」に決まり、必要な道具や係を考え、魚釣りゲームに向けての準備をしました。自分の班の下級生のことを思い浮かべながら、「〇〇ちゃんには、これくらいの釣り竿の長さがいいかな。」とか、「〇〇ちゃんはピンクが好きだから、竿のテープはピンクを巻いてあげよう。」等、工夫しながら作っていました。

2月2日（火）には、リハーサルをしました。その様子は、校内の先生方にも見ていただきました。魚釣りができるように、プレイルームの机を片付ける等の場の設定をして、協力して準備をしました。子供がお店屋さんとお客さんに分かれて活動をし、授業の振り返りでは、「もっと、下級生を楽しませてあげるようにするにはどうしたらよいか。」を考えました。自分たちがゲームを経験した後なので、「笑顔で接客したらよいと思う。」「説明を分かりやすく、丁寧にするが良い。」「魚屋さんのように青いエプロンをしたらいい。」「受付を作って、カードを作ったら、楽しめると思う。」と、活発な意見がたくさん出てきました。その意見をもとに、本番に向けての準備を3日（水）にしました。そして、4日（木）の本番に臨みました。今回、4～6年生は、【自分の仕事に責任をもち、みんなで協力して、下級生を楽しませてあげよう。】というめあてで活動しました。「下級生に内緒でお店屋さんを計画して、楽しませてあげよう!」というわくわく感も、盛り込んで、意欲的に活動ができた4～6年生でした。もちろん、遊ばせてもらった1～3年生の子供たちは、「楽しかった。」「魚がいっぱいとれて、うれしかった。」と、上級生に感想を伝えることができ、次の日にお手紙を書いて感謝の気持ちを伝えました

☆オリジナル凧で、凧あげ!!!☆

1月29日（金）「冬を楽しもう」の授業では、スーパーの袋を利用して、オリジナルの凧を作りました。毛糸やスズランテープで足を作り、模様はシールを貼ったり、好きな絵を描いたりしました。出来上がった凧を、北校庭に持っていき、そこで「凧あげ」を楽しみました。風が少し吹いていて、凧あげをするには良い日でした。勢い良く走ったので、袋が破けてしまった子もいましたが、みんなが元気に走り回り、思いっきり、凧あげを楽しむ時間となりました。